

レジメン名

S-1+CDDP(CGRT)

出典 TS-1適正使用ガイド 改訂
British Journal of Cancer(2009)101,225-231

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

非小細胞肺癌

☒進行・再発(Ⅲ期 局所進行例)
☐補助療法(術前・術後)

☐☐

1クール期間

28日

総クール数

4クール

(次のクールまでの標準期間)

投与減量の基準

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	CLcr	60mL/min未満
AST(GOT)	800IU/L以上	ALT(GPT)	800IU/L以上
その他	Grade3以上の非血液毒性	T-bil	12mg/dL以上
上記のいずれかを満たす場合、S-1を1段階減量を考慮。			
CDDP減量の目安	30mL/min<Ccr≤45mL/min	CDDP:50%減量	
	45mL/min<Ccr≤60mL/min	CDDP:25%減量	

休薬の基準

WBC	3000/mm ³ 以下	ANC	1500/mm ³ 以下
その他の(参考)適格基準のいずれかを満たさなくなった場合(参考)適格基準			

Hb	9g/dL以上	PLT	10万/mm ³ 以上
T-bil	1.5mg/dL以下	CLcr	正常値
AST(GOT)	100IU/L以下	ALT(GPT)	100IU/L以下
ALP	226IU/L以下		
その他	室内空気中の動脈血酸素分圧65Torr以上		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ティーエスワン	80mg/m ² ※	朝、夕食後		d1-14(または d1タ-15朝)
シスプラチン	60mg/m ²	NS500mL	2時間以上	d1
胸部放射線照射	2Gy/日			計30回、60Gy
※ TS-1の投与量 体表面積ごとで初回基準量を決める 1.25m ² 未満:40mg/回 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満:50mg/回 1.5m ² 以上:60mg/回 減量時は下記を参考に減量を行う 1.25m ² 未満:40mg/回→休薬 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満:50mg/回→40mg/回(1段階減量)→休薬 1.5m ² 以上:60mg/回→50mg/回(1段階減量)→40mg/回(2段階減量)→休薬				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 <DIV> ①ソルデム1 500mL/60min ②ソルデム3A 500mL+硫酸マグネシウム 20mL/60min ③パロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg+デ キサート9.9mg/15min ④マンニト(500)250mL/30min ⑤シスプラチン60mg/m ² +生食 計 500mL/60min ⑥ソルデム1 500mL/60min <内服> d1-14(または d1タ-15朝) ティーエスワン80mg/m ² 朝夕食後 day1-3 アプレビタントカプセル(125-80-80) day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食 後 day2-4 デカドロン8mg day1-4 オランザピン5mg 夕食後 (糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考 慮するなど慎重に投与)